

重点施策10 親しむ視聴覚教育の拡充と推進

【施策方針】

学校教育、社会教育における視聴覚教育の振興を図るため、地方教育行政の組織運営に関する法律に基づき、視聴覚の円滑な利用促進を図る。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

- ① 視聴覚教材の有効利用を図る指導者の養成
- ② 視聴覚ライブラリー保有機器・教材の充実

(2) 施策・事業の実施状況

① 視聴覚教材の有効利用を図る指導者の養成

視聴覚ライブラリー教材を利用した「子ども映画会」を毎月1回、第4土曜日を中心に実施している。人間形成の大切な時期に視聴覚教材を通して、心豊かな人間性を養うことを目指して、親子で楽しい時間の機会を提供している。子どもたちの休日の有効活用や豊かな心を育む情操教育の一助になればと考えている。24年度の利用者数は74名であった。幼稚園・保育所等へ出向いての「出前映画会」を実施し、4施設243人が視聴した。また、地区公民館では、公民館祭り等に子ども映画会を開催し教材活用を行っている。

愛媛県視聴覚教育協会が実施しているホームページ作成学習会、プレゼンテーション作成学習会、教育機器実技研修会(ビデオ、電子黒板)などの研修会に参加を呼びかけ、指導者としての資質向上を図っている。また八幡浜ビデオクラブとの技術研修の場を設けて、自作教材の創作活動を行っている。

② 視聴覚ライブラリー保有機器・教材の充実

16ミリ映画フィルム167本、ビデオ教材718本、DVD教材56本を保有している。16ミリフィルムの貸出は無く、ビデオ等の貸出は8本あった。機器で活用の多いのはビデオプロジェクターである。単に写すだけでなく、パソコンに接続し研修するケースが増え活用されている。

教材の充実については、厳しい財政事情の中、備品購入費が0円となっている。

視聴覚機器は著しい進歩により5年もすれば使い勝手の悪い古い産物となり得る。そのために、常に新しい機器、新しい機器へと追うのも考えものである。ある程度の新機器の購入に留め、まずは、アナログ機器からデジタル機器への切り替えが必要である。音楽カセットテープをCDやUSBメモリーに、映像16ミリフィルム教材やビデオテープ教材をDVD教材などのデジタル化を図るための機器の整備を図りたい。

【学識経験者意見】

○ 健全な家庭づくりや豊かな心を育てる情操教育の手段として、視聴覚機器や資料の活用は大変重要である。

殊に親子の対話が少なくなった現在、親子を対象とした映画会の実施は人間形成の大切な時期にある青少年のために必要であり継続実施を行ってほしい。

「アンコール子ども映画会」「出前映画会」等色々な企画を工夫されているようである。

ただ近年参加者が少ないのが気にかかる。その点の解決が必要だと思われる。視聴覚教材の有効利用については公民館との連携が必要だと考えている。

時代に即した機材の購入が必要だと思っているが、財政面のこともありなかなか難しい問題であるが、機材購入に必要な財源確保に努めてほしい。

【自己評価】

□ 「アンコール子ども映画会」、「出前映画会」ともに昨年度より若干利用者が増えてきた。案内ポスターの増刷も図った。固定利用者もあり、子どもたちの健全育成のためにも、今後も続けていかなければならないと考えている。

夏休みに「みなと交流館」で試行映写会を実施してみたが、思ったほどの利用者でなかったが、回数を増やすことで、利用者も増えると考えている。

□ ビデオテープのデジタル化を行っている。とりあえず、開設当初に撮られたビデオ教材やビデオクラブ制作のビデオ教材など昔の貴重な映像を順次、DVDに変換している。

□ 今後は、学習用に教材化を図るとともにハードディスクへの保管管理も考えねばならない。そのための予算化に努めたい。